

## 条件表現 参考文献

著者	発表年	論文名	『(雑誌名)』 (号)	発行団体名	収録項 たな とばらら
松下大三郎	1930		『標準日本語口語』	中文館	
国立国語研究所	1951		『現代語の助詞・助動詞 - 用法と実例』	秀英出版	
三上章	1960	「象は鼻が長い」		くろしお出版	
三上章	1963	「日本語の構文」		くろしお出版	
北條淳子	1964	「条件の表わし方」	『日本語教育』 4, 5	日本語教育学会	
木下正俊	1966	「条件法の構造」	『国語国文』 35-6 『講座日本語教育第3分冊』	中央図書出版 早稲田大学日本語研究教育セン	
森田良行	1967	「条件の言い方」			
山口堯二	1969	「假定条件法の表現的特色 - 事実の家庭的表現をめぐって」	『国語国文』 38-5 『日本語文法・形態論』	中央図書出版	
鈴木重幸	1972			むぎ書房	
三上章	1972	「続・現代語法序説」		くろしお出版	
山口堯二	1972	「確定条件法の成立」	『愛媛国文研究』 22 『愛媛大学法文学部論集(文学)』	愛媛国語国文学 愛媛大学法文学部	
山口堯二	1972	「一般条件法の性格」	『日本語文法研究』 4 『愛媛大学法文学部論集(文学)』	大修館書店 愛媛大学法文学部	
久野ススム	1973				
山口堯二	1973	「假定条件法の成立」	『新・日本語講座2 日本語文法の見えてくる本』		
永野賢	1975	「もしも私家が建てれば……」の文法 - 条件表現「ば」「と」「たら」「なら」 - 「複文の文型練習 - 「たら」「て」を含む文型を中心に -」	『新・日本語講座2 日本語文法の見えてくる本』	汐文社	
森田良行	1975		『講座日本語教育』 11	早稲田大学日本語研究教育セン	
野尻朱美・中島清	1976	「条件表現の「たら・れば」とについて」	187, 188 『研修』 『岩波講座日本語7 文法』	海外技術者研修協会 岩波書店	
田中章夫	1977	「助詞(3)」	『岩波講座日本語7 文法』	岩波書店	
安田章	1977	「助詞(3)」	『岩波講座日本語7 文法』	岩波書店	
inoue	1978				
遠藤織枝	1978	「条件を表わす「ば」「たら」「なら」について」	『東海大学紀要留學生別科』 2 通巻	東海大学	
國廣哲彌	1978	「時間接続表現の意味 - 意義素の分析 -」	『国語と国文学』 651 『教師用日本語教育ハンドブック3 文法』	東京大学国語国文学会	
鈴木忍	1978			凡人社	
豊田豊子	1978	「接続詞「と」の用法と機能」	『日本語学校論集』 5		
毛利可信	1978	「語用論と文章論 条件文を中心に」	v017 no5 『月刊言語』		
豊田豊子	1979	「接続詞「と」の用法と機能」	『日本語学校論集』 6		
豊田豊子	1979	「発見の「と」」	『日本語教育』 36 通巻	日本語教育学会	
岡崎正繼	1980	「順態接続助詞「と」の成立について」	『國學院雑誌』 875	國學院大學	
毛利可信	1980	「英語の語用論」		大修館書店	
草薙裕	1981	「従属節および関係節におけるテンス・アスペクトについて」	『馬淵和夫博士退官記念論文集』	大修館書店	
小出慶一・小松紀子・才田いずみ	1981	「ト・バ・タラ 談話における選択要因を求めて」	『アメリカ・カナダ十大学連合日本語教育センター紀要』 4 『日本語教育指導参考書』		
寺村秀夫	1981	「日本語の文法(下)」	5	国立国語研究所	
國廣哲彌	1982		『意味分析の方法』	大修館書店	
国師三起子	1982	「〔共同研究(「日本語表現文典」作製)から〕仮定の条件を表す言い方」	『国際学友会日本語学校紀要』 7 『Papers in Japanese Linguistics』		
Akatsuka Noriko	1983	「"Conditionals"」	9		
Inoue Kyoko	1983	「"An Analysis of a cleft conditional in Japanese :where grammar meets rhetoric"」	『Journal of Pragmatics』 7 『講座現代の言語1 日本語の基本構造』		
井上和子	1983	「条件を表す接続形式」		三省堂	

小野米一・巴 維	1983	「条件表現「と」「は」「たら」「なら」の異同について 中国人学習者のために」	『北海道教育大学紀要』	1-A 34-1	
小林賢次 真田信治	1983	「恒常表現の表現から仮定条件の表現へ - 虎明本狂言の分析をとおして - 」	『国語と国文学』 『日本語のゆれ』	60-10	東京大学国語国文学会 南雲堂 筑波大学一般・応用言語学研究室 明治書院
周馥卿	1983	「日本語の条件表現」	『言語学論叢』	2	
高橋太郎	1983	「動詞の条件形の後置詞化」	『副用語の研究』		明治書院
豊田豊子	1983	「接続詞「と」の用法と機能」	『日本語学校論集』	9	
豊田豊子	1983	「接続詞「と」の用法と機能」	『日本語学校論集』	10	
藤井美智子 矢野健太郎	1983	「初級段階における順接条件表現・バ、タラ、ナラの図示を試み」	『国際学友会日本語学校紀要』	7	国際学友会日本語学校
	1983	「条件の変形」	『言語生活』	380	筑摩書房
伊藤勲	1984	「「ば」「たら」「なら」の用法」	『国際学友会日本語学校紀要』	8	
伊藤勲	1984	「「と」の用法」	『国際学友会日本語学校紀要』	9	
川口さち子	1984	「下・バ・タラ・ナラによる条件表現の分析 - 日本語初級教科書における提出順序再考 - 」	『早大語学教育研究所紀要』	28	早稲田大学語学教育研究所
鶴田庸子	1984	「日本語教育のためのタラとバの分析」	『日本語教育論集』	1	国立国語研究所 日本語教育セン
濱田留美	1984	「接続の「と」と「て」の間」	『国際学友会日本語学校紀要』	9	
松田剛史 Akatsuka Noriko	1984 1985	「「ト、テ、タラ」について」 「"Conditionals and epitemic scale"」	『大谷女子国文』 『Language』	14 61	大谷女子国文学会
言語学研究会・ 構文論グループ	1985	「条件づけを表現するつきそい・合わせ文(一)」	『教育国語』	81	むぎ書房
言語学研究会・ 構文論グループ	1985	「条件づけを表現するつきそい・合わせ文(三)」	『教育国語』	83	むぎ書房
言語学研究会・ 構文論グループ	1985	「条件づけを表現するつきそい・合わせ文(二)」	『教育国語』	82	むぎ書房
豊田豊子	1985	「「と、ば、たら、なら」の用法の調査とその結果」	『日本語教育』	56	日本語教育学会
蓮沼昭子	1985	「「ナラ」と「スレバ」」	『日本語教育』	56	
松田剛史 kamio	1985 1986	「「て」、連用形、「と」の分布」	『大谷女子国文』	15	大谷女子国文学会
奥田靖雄 言語学研究会・ 構文論グループ	1986	「条件づけを表現するつきそい・合わせ文 その体系性をめ」 「条件づけを表現するつきそい・合わせ文(四)」	『教育国語』	87 84	むぎ書房 むぎ書房
鈴木義和	1986	「接続助詞「と」の用法と意味」	『国語論叢』	13	
坪本篤朗	1986	「andとト文連結のプロトタイプと範疇化」	『応用言語学講座』	2	外国語と日本語 明治書院
豊田豊子	1986	「「ことわざ」からみた「と」「は」「たら」「なら」の用法」	『日本語学校論集』	13	
沼田善子	1986	「副詞句のとりたて - 「と」「は」「たら」「なら」と「も」」	『都大論究』	23	東京都立大学国語国文学会
小林賢次	1987	「順接条件の接続助詞「と」の成立と発達 - 狂言台本を中心に「と・ば・たら」の導入法の問題点について その1 - 資料(誤用例または不適切な使われ方」	『上越教育大学国語研究』	1	上越教育大学国語教育学会
重松淳・小泉智 永子	1987		『日本語と日本語教育』	16	慶應義塾大学国際センター
戸村佳代	1987	「条件を表さない「タラ」について」	『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』	3	筑波大学留学生教育センター
中島悦子	1987	「「継起」を表す「と」」	『国文目白』	27	日本女子大学国語国文学会
仁田義雄	1987	「条件づけとその周辺」	『日本語学』	1987v 0169 月号	明治書院
蓮沼昭子	1987	「条件文における日常的推論 - 「テハ」と「バ」の選択要因をめぐって - 」	『国語学』	150	国語學會

小松光三	1988	「接続助詞の意味と用法 - 「は」の場合 - 」	『愛媛国文研究』	38		愛媛国語国文学会
坂原茂	1988	「擬似条件文について」	『月刊言語』	8	v01 17.NO	大修館書店
竹鼻圭子	1988	「条件文の機能」	『大手前女子大学論集』	22		大手前女子大学
中島悦子	1988	「継起の「と」と同時の「とき」	『国文目白』	28		日本女子大学国語国文学会
林四郎	1988	「「と」「たら」型条件文の構造と表現レベルの変換」	『明海大学外国語学部論集』	1		明海大学外国語学部紀要編集委
松田剛史	1988	「条件文の解釈をめぐる」	『大谷女子国文』	18		大谷女子国文学会
毛利可信	1988	「擬似仮定文の構造について」	『月刊言語』	6	v01 17.NO	大修館書店
森田良行	1988	「基礎日本語3」				三省堂
横村宙世・下村彰子	1988	「接続の表現」	外国人のための日本語例文問題シリーズ			荒竹出版
田仁淑	1989	「条件節をともなう複文」	『東京外語大日本語学科年報』	11		東京外国語大学
益岡隆志・田窪行則	1989		『基礎日本語文法』			くろしお出版
森田良行	1989		『基礎日本語辞典』			角川書店
森田良行・松本正恵	1989		『日本語表現文型 - 用語中心複合辞の意味と用法』			アルク
吉川武時	1989	「日本語文法入門」				アルク
W・M・ヤコブセン	1990	「条件文における「関連性」について」	『日本語学』		1990v 019 4 月号	明治書院
網浜信乃	1990	「条件節と理由節 ナラとカラの対比を中心に」	『待兼山論叢』	24		
稲葉みどり	1990	「順接・仮定条件文成立のためのモダリティー制約 - 日本人調査を通じて - 」	『ことばの科学』	3		名古屋大学言語文化 文化部言語文化研究会
坂原茂	1990	「談話研究の現在と将来」	『月刊言語』	4	v01 14.NO	大修館書店
重見一行	1990	「中古助詞「は」と「ば」の距離	『富山大学教育学部紀要A(文科系)』	38		富山大学教育学部
中島信夫	1990	「日本語条件文「…ナラ…」について」	『甲南大学紀要文学編』	33		甲南大学
松木正恵	1990	「複合辞の認定基準・尺度設定の試み」	『早稲田大学日本語研究教育センター』	2		早稲田大学日本語研究教育センター
有田節子	1991	「日本語の条件表現と叙述の特定性という概念についての一考察」	『日本語・日本文化』	17		大阪外国語大学 留学生別科・日本語学科
江口巧	1991	「条件文と理由分の交替について」	『言語科学』	26		
小林賢次	1991	「条件表現の歴史」	『講座日本語と日本語教育』	10	日本語 の歴史	明治書院
前田直子	1991	「条件文分類の一考察」	『東京外語大日本語学科年報』	13		
南不二男	1991	「現代日本語の従属句についての小調査」	『日本語学』		1991v 0110 12月号	明治書院
山下好孝	1991	「日本語の条件文をめぐる」	『AKP紀要』	5		同志社大学
井島正博	1992	「視点の表現機能」	『成蹊大学文学部紀要』	28		成蹊大学文学部
鈴木義和	1992	「提題ナラとその周辺」	『園田学園女子大学論文集』	26		園田学園女子大学・短期大学
田中寛	1992	「条件表現と発話機能 - 慣用的側面をめぐる - 」	『講座日本語教育』	27		早稲田大学日本語研究教育センター
益岡隆志・田窪行則	1992		『基礎日本語文法 - 改訂版 - 』			くろしお出版
三原健一	1992	「日本語従属節の時制」	『時制解釈と統語現象』			くろしお出版
有田節子	1993	「日本語の条件文と知識」	『日本語の条件表』			くろしお出版
有田節子	1993	「日本語条件文研究の変遷」	『日本語の条件表』			くろしお出版

井島正博	1993	「条件文の多層的分析」	『成蹊大学一般研究報告』	26	成蹊大学
窪田行則	1993	「談話管理者から見た日本語の反事実的条件文」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
坂原茂	1993	「条件文の語用論」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
鈴木義和	1993	「ナラ条件文の意味」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
鈴木義和	1993	「ナラ条件文の用法 - 聞き手との関係を中心に -」	『園田語文』	7	園田学園国文懇話会
坪本篤朗	1993	「条件と時の連続性 時系列背景化の諸相」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
蓮沼昭子	1993	「「たら」と「と」の事実的用法をめくって」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
益岡隆志	1993	「日本語の条件表現について」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
益岡隆志	1993	「条件表現と文の概念レベル」	『日本語の条件表現』		くろしお出版
益岡隆志	1993	「24週間日本語文法ツアー」			くろしお出版
山田准	1993	「日本語教育における条件文についての一考察 - 条件文はどのように教えるか -」	『AKP紀要』	7	同志社大学
岩崎卓	1994	「ノテ節、カラ節のテンスについて」	『国語学』	179	国語學會
小林賢次	1994	「条件表現の変遷 - 仮定表現形式の地理的分布とのかかわり」	『日本語学』	vol.13 8月号	明治書院
田中寛	1994	「条件表現と基本文型」	『日本語学』	vol.13 8月号	明治書院
中右実	1994	「日英条件表現の対照」	『日本語学』	vol.13 8月号	明治書院
野田尚史	1994	「仮定条件のとりたて - 「～ても」「～ては」「～だけで」などの体系 -」	『日本語学』	vol.13 8月号	明治書院
山口堯二	1994	「条件表現の起源」	『日本語学』	vol.13 8月号	明治書院
山梨正明	1994	「条件文の表現機能と言葉の認識」	『日本語学』	vol.13 8月号	明治書院
白川博之	1995	「タラ形・レバ形で言いさす文」	『広島大学教育学科紀要』	5	広島大学教育学部日本語教育学
丹波哲也	1995	「仮定条件と主題 対比」	『国語国文』	62	中央図書出版
宮下達夫・仁田義雄	1995	「日本語の類似表現の文法(下)」			くろしお出版
油谷幸利	1995	「仮定の「なら」と伝聞・様態の「なら」」	『愛知教育大学研究報告(人文科学篇)』	44	愛知教育大学
大野裕	1996	「日本語の反実仮定条件文と時制解釈」	『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』	6	関西外国語大学
向井留美子	1997	「下キ節の同時解釈と絶対的テンス」	『広島大学教育学科紀要』	7	広島大学教育学部日本語教育学 名古屋大学言語文化 文化部言語文化研究会
小野純一	1998	「仮定条件を表す「-トキハ」の成立条件について - 「-タラ」「-ト」との比較を通して -」	『ことばの科学』	11	
加藤理恵	1998	「「時」を表す「たら」と「と」について」	『日本語教育』	97	日本語教育学会
川口義一	1998	「意味記述の教材化 - 『基礎日本語辞典』のナラの記述を例として -」	『早稲田大学日本語研究教育センター』	11	早稲田大学日本語研究教育センター
前田直子	1998	「非仮定的な事態を接続する・タラ文の意味・用法」	『東京大学留学生センター紀要』	8	東京大学留学生センター
松田文子	1998	「眼前事態描写における「タ」の機能 - 過去時への遡りを要請する「タ」 -」	『日本語教育』	97	日本語教育学会
Harry SOLVANG	1999	「ノルウェー語から見た日本語の条件表現 - 日本語を学習しようとするノルウェー人を対象に」	『NIDABA』	28	
有田節子	1999	「プロトタイプから見た日本語の条件文」	『言語研究』	115	日本語学会
井島正博	1999	「接続助詞あるいは期待対比構造」	『月刊言語』	vol. 28.NO. 4	助詞から探る日本文法 大修館書店
名嶋義直	1999	「体言に接続するナラの類型について」	『ことばの科学』	12	名古屋大学言語文化 文化部言語文化研究会
花園悟	1999	「条件系複合用言形式の認定」	『国語学』	197	国語學會

Eve E. Sweetser / 澤田治美訳	2000		『認知意味論の展 開』		研究社出版
Yuki Johnson	2000	「Conditionals and Modality: A Reexamination of the Function of Ba and Volitional	『世界の日本語教 育』	10	国際交流基金
川口義一	2000	「「ナラ表現」の「文脈化」と「教 材化」	『早稲田大学日本語 研究教育センター』	13	早稲田大学日本 語研究教育セン ター
川口義一	2000	「初級教科書の「ナラ表現」	『講座日本語教育』	36	早稲田大学日本 語研究教育セン ター
田中寛	2000	「「ト」節条件文の機能的分析」	『講座日本語教育』	36	早稲田大学日本 語研究教育セン ター
藤城浩子	2000	「「ト、ハ、タラ - 基本的な意味か らの用法検証 - 」	『三重大学留学生セ ンター紀要』	2	三重大学留学生 センター
藤城浩子・宗意 幸子	2000	「(ノ)ナラの意味と特徴」	『三重大学日本語学 文学』	11	三重大学日本語 学文学会
北條淳子	2000	「日本語教育のための～タラと ～トの機能分類」	『早稲田大学日本語 研究教育センター』	13	早稲田大学日本 語研究教育セン ター
益岡隆志	2000	「条件表現再考」	『日本語文法の諸 問』		くろしお出版
岩崎卓	2001	「複文における時制」	『月刊言語』	30.NO 12	大修館書店
大島弘子	2001	「「ほら」の機能について」	『日本語教育』	108	日本語教育学会
川口義一	2001	「日本語教育のための「文法」 - 表現者のための文法記述 - 」	『日本語学』	2001v 0120 3 月号	明治書院
森田良行	2001	「確述意識を表す「た」」	『月刊言語』	30.NO 12	大修館書店
仁田義雄	2002	「文構造の究明 - 陳述論から文 の階層構造観へ」	『月刊言語』	通巻 370号	大修館書店
野田尚史、益岡 隆志、佐久間ま ゆみ、久保田行	2002		『複文と談話』		岩波書店
井島正博	2003	「期待と対象の文法から見た条 件文」	『月刊言語』	32.NO 3	大修館書店
高梨信乃	2003	「遠そうで近い条件と理由、条 件と主題」	『月刊言語』	32.NO 3	大修館書店
堀恵子	2003	「韓国語母語話者を対象とする 日本語条件文の習得研究」	『言語と文明』	第1巻	麗澤大学大学院 言
堀恵子	2003	「学会口頭発表コーパスにおけ る条件表現の用いられかた」	『日本語教育学会秋 季大会』		
堀恵子	2004	「八条件文の文末制約を再考 する - 日本語母語話者に対する 適格性判断調査 から - 」	『言語と文明』	第2巻	麗澤大学大学院 言 語教育研究科
<b>モダリティー・文の種類等</b>					
南不二男	1974		『現代日本語の構 成』		大修館書店
仁田義雄・益岡 隆志・田窪行則	2002		『新日本語文法選書 4 モダリティー』		くろしお出版
林四郎	1960		『基本文型の研究』		明治書院
益岡隆志	1997		『新日本語文法選書 2 複文』		くろしお出版
仁田義雄	1997		『日本語文法研究序 説 - 日本語の記述 文法を目指して - 』		くろしお出版